

第 36 回例会

2023. 5. 24

国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区
福島南ロータリークラブ会報今年度
スローガン
インスパイア

いつもわが身を鼓舞し、仲間の行動を激励し、人に感銘を与える

会員 67 名中	47 名出席	出席率 70. 15%
修正 51 名出席	出席率 76. 12%	メイクアップ 4 名

WEBSITE!

イマジン
ロータリー

例会場 クラークリアンテナサンパレス 福島市上町 4-30

開催日 毎週水曜日 12 時 30 分

会長 渡邊 正義

幹事 宍戸 隆司

会長挨拶

渡邊 正義 会長

皆様こんにちは、先日は移動例会という事で永京寺にお邪魔し普段はあまりやることない座禅をしました。なかなか雑念が取れません。私は座禅そのものが足、腰が悪いものですから苦しかったです。でもいい経験でしたし、永京寺が杉妻小学校の発祥の地とは、感慨深いものが御座いました。又寺の歴史も 600 年前にさかのぼるとい事ですから、その間はいろいろなことがあったのだと思います。大野様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

本日は第 2530 地区青少年奉仕委員会委員長の大木和彦様のスピーチが御座います。大木様宜しくお願い致します。

私共福島南ロータリークラブは長年福島成蹊高校とインターアクトとの活動をしておりまして、ここ 2、3 年はインターアクト加入者が増えてきております。非常にうれしい事と思っております。子供たちと活動していると大人の私たちも元気をもらえてとても楽しいです。

今年も、スポごみ、猪苗代水草除去等様々な場面で子供達にはお世話になり、又元気ももらっております。学校にも月 1 回お邪魔していますが、皆さん挨拶が行き届いており、

先生たちの指導が行き届いているのが分かります。

学生時代は勉強、勿論社会に出るための準備期間という事を考えれば、教育とはなかなか難しいものがあります。先生方も部活指導でなかなか休みが取れず、家庭サービスもままならないのが現状です。私の婿も県南の高校で教師をやっておりますが、最初の年は柔道の顧問、それからバレーの顧問と、忙しい毎日を過ごしております。若いからスポーツ系の顧問をさせられているのでしょうか、まるで母子家庭のようだと本人も笑っていますが、このままでいいのでしょうか。ようやく部活動の時間を民間に委託するという話が出ていますが、実現するのでしょうか？ 昼は授業、そしてそれが終わってから部活と休む暇もない毎日です。教師位大変な職場は無いとは思っていますが、そういう環境でも先生たちはそこに生きがいを見出しているのが現状です。

今月の最終日曜日の 28 日は、リトルリーグの MLB CUP の福島大会あります。県内 5 チームが参加し、上位 2 チームが東北大会に行けます。是非、お時間のある方は応援宜しくお願い致します。これで会長挨拶を終わります。



新会員入会式

渡邊 正義 会長, 会員増強委員会 高橋勇雄委員長

渡邊会長より入会証書が新会員の松本圭司さんに渡されました。

会員増強委員会高橋委員長より新会員松本圭司さんの紹介がありました。

松本圭司さんのご職業は近畿日本ツーリスト東北福島支店長さんです。前任の宮城貴志さんの転勤による交代になります。

松本さんは前任地で土浦南ロータリークラブに所属されていたとのことです。



松本圭司さん挨拶

皆さんこんにちは近畿日本ツーリストの松本と申します。只今ご紹介頂きました通り旅行会社の方に勤めており4月1日付で福島の方に赴任してまいりました。長く茨城県での勤務でした。福島で働くのは初めてで右も左もわからない状態です。色々ご指導頂ければと思いますのでこれから宜しくお願い致します。

カウンセラーは安齋常克会員



ゲストスピーチ紹介

廣澤 俊樹 会員

先々週、情報委員会の会員であるパスト会長の鈴木恒昭さんが青少年奉仕について10分間お話し致しました。ロータリーと言うものは5つの活動方針があり、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして先日鈴木恒昭さんがお話頂いた青少年奉仕があります。ロータリーは7月を除き重点目標が設定されており、この5月が青少年奉仕委員会の活動月間ということになっております。今日は地区の委員長大木和彦様から講義を頂きます。宜しくお願い致します。



皆さんこんにちは、少しの時間お話を聞いて頂ければと思います。今日は私が地区の方に行って記憶に残っている所を皆さんにご紹介しようと思ってスライドを準備してまいりました。2005年に入会したのは37歳のころで日本青年会議所にも所属しておりました。入会してすぐに幹事を受けました。須賀川ロータリークラブ50周年事業の後の会長を仰せつかり、会長もやりながら地区の青少年交換委員会委員になりました。青少年交換委員になったのは高校1年の子供を留学させようかと思ひまして面接をさせまして留学するようになりましたが、高校2年生は色々な行事(文化祭、修学旅行)があり子供としては留学はしたくないとの思いで、留学を1年延期することになりました。青少年交換委員会もそろそろかなと思っていた時に、インターアクト委員長になって欲しいとなりまして委員長を3年勤めました。地区の中では一つの委員会に3年在籍したほうが良いとのことから私は3年在籍しております。7月から3年目の青少年奉仕委員長になります。「世界に希望を見出そう」というようなテーマです。このテーマを受けながら世界に人を生み出すためにはやはり青少年かなと自分なりに都合の良い解釈をしております。

印象に残っている事を上げますと2019年8月にR I マローニー会長が福島に来ることになり、そこで青少年と関わりもつことを設けることになりバスを仕立てて青少年と懇談を致しました。県北のインターアクトクラブは優秀です。その中でも選抜して頂けるということで4名の高校生と懇談して頂きました。

右の写真はバスの中の写真です。またマローニーご夫妻にお会いした時のお一人桜の聖母学院高等学校3年鈴木真宝さんの感想を表示致します。

「マローニー会長が高校生の私たちに向けてスマホの画面越しではなく、直接人と向き合って交流すべきとだ」という言葉を胸にとめこれからもインターアクターとして活動して行きたいと決心しました。と感想を述べております。こういう機会がインターアクターには欲しいなと思っております。



留学を1年延期することになりました。青少年交換委員会もそろそろかなと思っていた時に、インターアクト委員長になって欲しいとなりまして委員長を3年勤めました。地区の中では一つの委員会に3年在籍したほうが良いとのことから私は3年在籍しております。7月から3年目の青少年奉仕委員長になります。「世界に希望を見出そう」というようなテーマです。このテーマを受けながら世界に人を生み出すためにはやはり青少年かなと自分なりに都合の良い解釈をしております。



マローニー会長来日の感想

桜の聖母学院高等学校 3年 鈴木真宝

マローニー会長との交流は私にとって、とても貴重な経験となりました。お会いする前に、「ロータリーの友」という雑誌で読んだように、マローニー夫妻は優しく、リーダーとしての暖かい、包み込んでくれるようなオーラのある方でした。

実際にお話しをした際も高校生1人1人に目を合わせて下さり、頷きながら聞いて下さいました。やはりリーダーは、誰とでも向き合う暖かい心を持っている人であると改めて感じました。

マローニー会長が、高校生の私たちに向けてスマホの画面越しではなく、直接人と向き合って交流すべきだという言葉が胸に止めこれからも、インターアクターとして活動して行きたいと決心しました。

福島成蹊高校3年菅野采颯さんはふくしま産業賞学生部門学生奨励賞を個人で唯一受賞した方です。県内外の高校生を福島市の料理店に招き、ともに県産農産物を味わった。農家の思いを知ってもらい、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の風評払しょくにつなげる為でした。

被災地の高校生を米国に派遣する官民組織「TOMODACHIイニシアチブ」の研修プログラムをきっかけに福島が抱える課題解決に挑戦しようと考えたそうです。新型コロナウイルスあったのであまり活動ができなかったのですが福島で開催した事案として、インターアクトには地区事業として3つあります。年次大会、国際理解研修、リーダー研修の3つ地区としてやる事業があります。ここでは東稜高校の時にスポンサーロータリークラブは福島ロータリークラブでこの時の会長は右近さんでした。この時の状況を皆様に見て頂きます。場所は青少年会館で開催したインターアクトクラブ第26回年次大会です。ここに参加してそれぞれの学校がどのような活動をしているかというのを説明を事例として皆様にお話ししていきたいと思ひます。



ふくしま産業賞 学生部門
学生奨励賞 菅野采颯(18)(福島・福島成蹊高3年)
2020/03/10 16:05

唯一、個人で受賞した。二〇一九(令和元)年五月に県内外の高校生を福島市の料理店に招き、共に県産農産物を味わった。農家の思いを知ってもらい、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の風評払拭(ふっしょく)につなげるためだ。

被災地の高校生を米国に派遣する官民組織「TOMODACHIイニシアチブ」の研修プログラムをきっかけに、福島が抱える課題解決に挑戦しようと考えた。家族や近所の農家が放射性物質に対する不安を語る情景が浮かび、自らの手で古里を支えたいとの思いがあった。

同組織の制度を活用して、料理店でのイベントの運営資金を確保。SNSなどで呼び掛け、県内や宮城県、東京都などから高校生ら約三十人を集めた。店側の協力を得て、県産のコメやアスパラガス、鶏肉などを使った料理でもてなした。震災からの復興に懸ける農家の思いを取材し、まとめたインタビュー映像を流した。参加者から反響があり、手応えを感じた。現在は、風評払拭に向けた企画の第二弾の準備を進めている。

高校卒業後は大学で国際社会の現状や地域課題について学ぶ予定で、将来は社会貢献活動に取り組む夢を抱く。「知識と視野を広げ、自分ができることを可能な限り増やしていきたい」と志は高い。

◆官民組織「TOMODACHIイニシアチブ」◆ 東日本大震災の被災地の高校生を米国に派遣する研修プログラムを実施している。菅野采颯さんは高校一年の時に参加。米国の過疎地を訪れ、地域住民や他の研修生と共に現地の課題解決策を探った。



一泊で青少年会館に宿泊し研修をしました。上の右側の写真の男子2人は喜多方一中インターアクトクラブの方です。インターアクトクラブは現在22ありまして中学校は船引中と喜多方一中になります。泊りがけで中学生と高校生が一緒になって自分たちの活動を報告しあいながら交流を深めてさらに活動をしていこうモチベーションを持って帰ってもらおうという内容になっております。国際理解研修という名称の前は地区内研修という名称で言うておりました。以前は韓国とか台湾とかに学生を派遣して海外の交流をしておりました。今はそういう風なことはなく、例えばお金をかけながらブリティッシュヒルズとかに泊まったりとかしていました。現在は予算の関係で実施していません。地区内から来てもらって交流をしています。この時は地区外(大阪第2660地区から開明中高インターアクトクラブ)からも来ていただきました。この顧問の三本杉先生が成蹊高校の前のインターアクトの顧問の先生だったというご縁で開明中高インターアクトクラブは大阪中之島ロータリークラブと大阪東ロータリークラブと合同のスポンサー、2つのクラブでスポンサーをしているインターアクトクラブになります。福島成蹊高校鈴木智美先生と開明中高の三本杉先

生の交流があつて今度8月1日から3日にかけて第2660地区のインターアクト60名以上、第2260地区のロータリアンが60名以上、1名に対して1名のロータリアンが福島を訪れて交流して頂く予定です。福島南ロータリークラブの皆様にもお手伝いをお願いすることになると思います。第2680地区瀧川一高校インターアクトクラブ、ここの顧問の先生は衛生クラブの会長もやっているインターアクト出身のインターアクトの顧問の先生です。ここは日本一のインターアクトクラブだといわれております。そこで行くのが三春にある交流館、集会所に泊まりながら被災者の方のお話を聞きながら夜には第2530地区で第2660地区のインターアクトに様々なプレゼンをしながら交歓を進めていく予定です。

私の気に入っているインターアクトクラブの活動は相馬農業高校インターアクトクラブです。昨年の11月3日に秋市というイベントがあつてバザーでインターアクターがポリオ募金の商品販売をしたことです。

この事業はロータリアンの会社のカット野菜販売でカボチャの売れない部分を相馬農業高校インターアクターに活用方法の相談をしたのがはじまりです。インターアクトクラブがカボチャのパウンドケーキを作ろうということで捨ててしまうところを利用しパウンドケーキを作り販売し販売代金を募金の原資にあてる。この活動を通しながらポリオの理解をインターアクターと市民に広めて食品ロス、フィールドワーク、コミュニケーションとか仕組みを取りながら活動の資金にもなり得ます。つぎにはトルコ、シリアの募金をすることになっております。

この写真(右下側写真)は何を示しているかと言うとインターアクターがロータリーに募金をお願いしている写真です。インターアクターが国際的に支援したいからスポンサークラブに募金をお願いしますということになり、日本の場合は学校型のインターアクトクラブになります。世界には社会型インターアクトクラブということで学校の顧問に頼らずにカウンセラーは必ず付きますが地域の子どもたちでインターアクトクラブを作っているケースがあります。そこはバザーなどをやったお金を原資にそれを活用しながら国際理解の活動に移している。日本のインターアクトクラブは実は過保護に育てられてきているのかなと感じておりますが、この活動に関してはバザーによる原資を得ながらそれを回していくということで上げさせて頂きました。

インターアクトクラブもロータリー賞があります。ぜひロータリー賞に挑戦して頂きたいと思えます。これはザベリオ学園のインターアクトクラブが会津若松西ロータリークラブの青少年奉仕委員長が熱心にやりながらロータリー賞を取るプログラムを進めた事を紹介致しました。

相馬農業高校インターアクトクラブ



11月3日に「あきいち」があり
我々はバザー、インターアクターは
ポリオ募金の商品販売を行いました!



その他にRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)があります。左の写真は第41回RYLA研修会を実施致しました。

今回のテーマは原発の処理水の話で福島に住んでいる経産省の方の話とアンガーマネージメントの話と海外の経験のお話しと組み合わせたものになります。全国では熱心というか進んでいる地区では第2680地区では3泊4日の無人島で実施するプログラムもあります。当地区では1泊2日で今のところ開催しております。インターアクト、RYLAとやってきますが、今回RYLAやっていきたいことは、RYLAニアンから例会に呼んでどうだったかを聞く機会を設けたいと考えております。今回はローターアクト年次大会にRYLAニアン来ないかと声をかけたところ1名参加希望者がおりました。たった1名ではありましたが、4月に実施したRYLAに声をかけてオフ会をやろうという話をしております。またRYLAニアンに次のRYLAメンバーを推薦頂いても良かったのではないかと考えております。自分が経験したことを誰かにつなげていく事があってもよいのではないかと考えております。青少年会議もありますのでそこにも出席して頂けるようにしたいと思います。ぜひRYLAニアン、RYLAニアン卒業生には次のステップのプログラムを受けて頂けるようお願い致します。交換もあります。この地区で経験したことが東京で新たにロータリーとして入っていくということもあります。このような事をやっていると危機管理が必要になってきます。色々な問題が出た時にこのような組織を皆さんで支えながらやっていきます。

この間石川県珠洲市で地震がありました。地震の際メール配信ありましたものを紹介させていただきます。

安否確認のメールです。危機が来た時安否確認を実施し報告しなければならない。という事案です。

私の考えるところはクロスプロモーションということでインターアクト、ローターアクト、RYLA、国際青少年交換それに米山奨学生をミックスした状態で交流を深めて進めていくということでうちの地区は青少年会議が必要だということで青少年会議を実施しています。これをきっかけに船引中学校では米山奨学生と交歓会をしたりしました。私の好きなRIテーマは「ロータリーは光の扉を開く」、ロータリアンとして青少年に色々な機会を与えていきたい東日本大震災があつて原発事故があつてそしてコロナを経験した若い人たちにこの機会を提供するところが感じています。青少年奉仕は常に育てる奉仕ということで皆様には引き続き成蹊高校をはじめとしたインターアクターそして交換事業とRYLA引き続きご支援、ご指導の程、ご協力の方、あとは何かありましたら呼んで頂いてお話しさせて頂ければと思っております。ありがとうございました。



D2610RYE 中田輝> RIJYEM 事務総括津留です。

本日 14 : 42 頃、石川県能登地方で震度 6 強の地震が発生しました。

RIJYEM 安否確認基準の震度 6 強ですので、安否確認を致します。

D2610 の IBS6 名の安否確認をお願いします。

RIJYEM 事務総括・保険管理
津留起夫 (Tsuru Yukio) D2790 市原 RC
090-3408-0716
e-mail: yukio@theibc.or.jp

RIJYEM 事務局
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒崎芝公園ビル 4 階
Tel: 03-6431-8106
Fax: 03-6431-8107
E-mail: rijyem@air.ocn.ne.jp
URL: http://www.rijyem.or.jp/

2023/5/24 2023年5月24日 福島県ロータリークラブ 卓話資料

